

第 5 4 期第 6 回常任幹事会 報告

日時：2024 年 10 月 24 日(木)13：30～15：15 会場：東京労働会館 5 階地評会議室

出 欠 吉田、稲葉、加藤（年金）、井澤、塩野、清水、山根、相川、秋元、市橋、
小形、岡本、阿久津、加藤（都教組）、木崎、北川、國米、佐久間、工藤、
田村、築館、中山、細見、前沢、森松、吉野、平野、大嶋

オブザーバー：都立病院の充実を求める連絡会事務局長 高橋

議 長 小川

事務局 小川

15/28 (出席、□リモート、欠席)

会長挨拶

現在、選挙が迫る中で、候補者たちの発言を聞くと裏金問題が話題になっている。しかし、統一教会との関係についてはあまり触れられず、このままでは統一教会の問題が曖昧なままにされてしまうのではないかと懸念しています。この問題は現在の政治に大きく影響しており、統一教会と深く結びついていた政治家が統一教会のイベントに出席したことが問題視されているが、過去のことだからと片付けられてしまっています。しかし、こういった問題を放置することでは、何が真の政治の発展なのか疑問に感じています。

選挙では残念なことに、今回は共産党と立憲民主党、そして他の野党の連携が十分には取れておらず、立憲民主党が共産党との連携を原則的に拒否する姿勢を示しており、せっかくの政権交代のチャンス逃してしまうのではないかと懸念しています。

また、新型コロナウイルスとワクチンについても考えを述べさせていただきたい。コロナ禍初期の頃は、重症化するケースが多く、ワクチンが一定の効果を持っていたと考えています。しかし現在では、感染者が多いものの、重症化はあまり見られず、ウイルスが弱毒化してきていることが認められており、この状況下でのワクチンの効果については疑問を持っています。特に、厚労省が感染予防効果はないと公式に認めている一方で、重症化予防には効果があるとしています。その効果について示した肝心な根拠となるデータを出てこないことに不信感を抱かざるを得ません。コロナワクチンの健康被害についても重要な問題で厚労省の公表する「死亡一時金または葬祭料」の認定件数が 878 件（10/24 現在）となっています。

■ [新型コロナウイルス感染症予防接種健康被害審査第二部会 審議結果 001321010.pdf](#)

これは、過去の他のワクチンの被害と比べても非常に高い数字であり、このデータを元にして各自が判断するべきだと考えています。私自身の医院では、新型コロナワクチンを接種しない方針を取っており、実際の診療でも通常の感冒薬や漢方薬で対処できるケースが多いと感じている。

最後に、マイナ保険証についても触れておきたい。現行の保険証は有効期限内であれば引き続き使用可能であり、マイナ保険証を持っていない場合でも資格確認書が送付されるため、慌ててマイナ保険証を取得する必要はありません。私自身も今後は資格確認書を使用して診療を続ける予定であり、自身も受診を続けようと考えています。

このように、政治、コロナ対策、医療制度について多くの課題が山積しているが、透明性を持った情報公開と正しい判断が求められていると感じる次第です。

I. 報告

1. 情勢から

■ 2024 年衆議院総選挙

毎日 10/22 候補者アンケート：裏金「解明必要」自民 48%（全体 76%）

情勢報告 P.01

東京 10/14 世論調査：投票先で裏金考慮 65% 比例自民 26%、立民 12%

情勢報告 2 P.03

読売 10/18 政策分析：社会保障

情勢報告 P.02

読売 10/18 政策分析：憲法

情勢報告 P.03

■ 年金・介護

情勢報告 P.04

読売 10/22 社会保障の論点「年金」今のままで大丈夫？

読売 10/22 社会保障の論点「介護」制度維持できる？

経済 10月号：唐鎌直義氏 働き続ける高齢者の増大と日本の社会保障

■ マイナ保険証

情勢報告 P.12

東京 10/22 保険証廃止、運転免許証存続 マイナ対応なぜ違う

医療保険部会 9/30：マイナ保険証の利用促進等について

MF10/7：マイナ保険証相談対応、薬局 8 割超負担

情勢報告 2 P.07

■ 生活保護利用者「見える化」急減の自治体申請阻止か

情勢報告 2 P.16

2. 活動報告

09 月 20 日(金)14:00～

中央社保協 関東甲ブロック会議

09 月 21 日(土)19:00～

日本を外から学ぶ学習会「実は日本は医師不足！

09 月 24 日(火)14:00～

東京高齢期運動連絡会常任幹事会

09 月 24 日(火)19:00～

江東民商共済会学習会「マイナ保険証」

09 月 25 日(水)10:00～

生存権裁判を支える東京連絡会幹事会

09 月 25 日(水)12:00～

消費税廃止東京各界連宣伝

2024024 第6回常任幹事会

09月25日(水)13:45～	消費税廃止東京各界連事務局会議
09月25日(水)14:00～	町田革新懇マイナ保険証学習会
09月25日(水)15:00～	文京社保協総会・介護保険制度学習会
09月25日(水)18:00～	いま、生活保護バッシングを考える
09月25日(水)18:00～	中央社保協第2回代表委員会
09月26日(木)	いのちまもる秋の国民集会
09月27日(金)18:00～	生活保護バッシングを乗り越えて(東京弁護士会)
09月27日(金)18:30～	大田民商マイナンバーカード学習会
09月28日(土)13:30～	西東京社保協 保険証学習会
09月28日(土)～29日(日)	第69回日本母親大会 in 和歌山
09月29日(日)10:00～	東京地評第23回定期大会
09月30日(月)14:00～	マイナンバー制度反対連絡会宣伝
09月30日(月)19:00～	日野社保協第28回総会
10月02日(水)13:30～	中央社保協第2回運営委員会
10月03日(木)12:30～	第66回人権擁護大会シンポジウム
10月06日(日)13:00～	第22回 全国介護学習交流集会
10月08日(火)13:00～	介護情報交換会(自治労連)
10月09日(水)13:30～	福祉の広場編集委員会
10月09日(水)13:30～	デジタル庁・厚労省前抗議行動(マイナ連絡会)
10月14日(月)12:00～	4の日宣伝 巣鴨宣伝
10月19日(土)13:00～	第52回東京社保学校
10月23日(水)18:00～	中央社保協第3回代表委員会
10月24日(木)13:30～	第6回常任幹事会
10月24日(木)15:30～	人権としての医療・介護東京実行委員会

3. 当面の日程

10月25日(金)09:30～	都民生活要求実行委員会 対都交渉
10月25日(金)18:30～	板橋区労連 マイナ保険証学習会
10月26日(土)12:00～	生存権裁判を支える東京連絡会 巣鴨駅宣伝
10月27日(日)	第50回衆議院議員総選挙投票日
10月28日(月)14:00～	乳腺外科医師冤罪事件高裁公判
10月31日(木)15:00～	代々木健康友の会 マイナ保険証学習会
11月04日(月)10:00～	都生連第62回大会
11月06日(水)13:30～	中央社保協第3回運営委員会

11月07日(木)13:00～	保険証を残せ 11/7 大集会 改めて、参加動員を呼びかけた。
11月11日(月)10:00～	介護・認知症なんでも無料電話相談
11月12日(火)08:00～	いのちのとりで裁判 最高裁前宣伝
11月14日(木)12:00～	4の日 巣鴨宣伝
11月16日(土)13:00～	日本平和大会
11月20日(水)10:00～	介護をよくする東京の会第6回事務局会議
11月21日(木)13:30～	第7回常任幹事会
11月22日(金)～23日(土)	第37回日本高齢者大会 in あいち
11月23日(土)11:00～	第15回地域医療守る運動学習交流集会
11月26日(火)14:00～	東京高齢期運動連絡会常任幹事会
11月28日(木)12:00～	マイナ保険証押し付け反対集中行動 「保険証残して」署名の提出行動
11月28日(木)15:00～	オン資「義務化」撤回訴訟判決
11月29日(金)18:30～	介護保険制度学習会
11月30日(土)14:00～	地域社保協学習交流会

4. 中央社保協、加盟団体の取り組み

(1) 中央社保協

総選挙アピールの紹介を行った。

(2) 加盟団体・友誼団体の総会・学習会など

10月25日(金)18:30～	板橋区労連 マイナ保険証学習会
10月31日(木)15:00～	代々木健康友の会 マイナ保険証学習会
11月04日(月)10:00～	都生連第62回大会
11月12日(火)15:00～	東京民医連 介護・福祉部 介護署名レク

5. 事務局・幹事団体

(1) 人権としての医療・介護東京実行委員会（前月は開催せず）

(2) 介護をよくする東京の会

■ 10月16日(水)10:00～事務局会議

- 都民生活要求実行委員会での介護要請項目について意思統一
- 11/11 介護・認知症なんでも電話相談：相談員の組織について確認
- 介護保険制度第10期に向けて、11月29日に学習会を開催する。

- 前介護保険部会委員 花俣ふみ代さん
- 全日本民医連事務局次長 林泰則さん
- 各指定報告（医労連、新宿、世田谷）

(3) 生存権裁判を支える東京連絡会

09月25日(水)10:00～幹事会

10月26日(土)12:00～巣鴨駅宣伝（総選挙のため中止）

● 東京高裁に向けての署名が提起された。

(4) 消費税廃止東京各界連絡会

09月25日(水)12:00～大塚駅宣伝 09月25日(水)13:45～事務局会議

● 新署名が提起された（請願項目は変更なし）

11月08日(金)12:00～大塚駅宣伝 11月08日(金)13:45～事務局会議

(5) 東京高齢期運動連絡会

11月22日～23日で開催される日本高齢者大会 in あいちへの東京からの参加状況などが報告された。

(6) 都民連

都民生活要求実行委員会 10/25

9:35～11:05（90分）

司会（東京社保協）

09:35～10:40

<医療><介護>

第1-1-(1)、第1-3-(3)、第1-6-(1)

第1-7-(3)、第1-8-(1)-ウ

第2-1-(3),(12)、第2-2-(1)、第2-3-(1)-ウ

10:40～11:05

<障害者への支援>

第4-2-(2)-ア,イ、第4-3-(1),(2),(3),(4)

※第4-2-(2)-ア=障害者施策推進部。第4-2-(2)-イ=障害者施策推進部。

11:05～11:10

休憩（5分）

11:10～12:00（50分）

司会（東京社保協）

11:10～11:30

<福祉・保育労働者の処遇改善>

第6-1-(1)、第6-2-(1)、第6-4-(2)、第6-5-(1)

※第6-1-(1)=介護保険課。第6-2-(1)=保育支援課。第6-4-(2)=保育支援課。

11：30～11：40 <国民健康保険制度について>

第 1-4-(1)、(2)

11：40～12：00 <都営住宅、生活保護>

第 2-1-(8)、第 7-2-(1)、第 7-4-(3)

第 8-1-(1)、(2)、第 8-2-(1)、(2)

(7) 共闘団体など

マイナンバー制度反対連絡会

11 月 07 日(木)13：00～保険証を残せ 11/7 大集会

11 月 28 日(木)15：00～デジタル庁・厚労省前宣伝

6. 会計報告

■ 5 4 期 9 月 会 計 報 告

収入全体では、前年同月比（参考資料：「23 年 4 月 1 日～24 年 3 月 31 日」）と比較して、会費の執行率が 96.9%に対して、今期は 97.0%と昨年同等の執行率となっています。「その他収入」の項目については、前年同月比の執行率は 96%となっており、今期の執行率は 66.8%と低くなっておりませんが、これは予算が昨年 6 万から今期 20 万に増額したことに起因します。執行額としては、昨年度比で 2 倍程度の収入となっていますが、これは中央社保学校の返金によるものです。

支出については、前年同月比と比較して、組織活動費が昨年同月の執行率が 12.1%に対して今期は東京社保学校の 4 月開催や中央社保学校の開催が例年よりひと月早まったことにより執行率が 33.8%となっています。運動費の前年同月の執行率は 17.1%に対して、今期は宣伝活動費の拠出が昨年度比で少ないため 13.3%となっています。運営費については前年同月の執行率が 52.9%に対して、今期の執行率が 54.2%となっています。運営費については特別な支出はありません。

II. 協議事項

1. 東京社保協の取り組み

(1) 自治体への調査や自治体議会への要請などについて

① 「資格確認書」発行予定状況等のアンケート調査の進捗

中間報告・・・再度依頼（23日 再回答依頼）

アンケートについて、27自治体から回答があったことを報告し、中間報告後に7自治体から追加で回答があったことが報告された。2

5 日の東京と要請の際に中間報告を提出することとした。

② 2024 年度 国保アンケートの進捗について

- 発送予定日：総選挙後に発送していくこととした。

(2) 地域社保協交流集会について

日時： 2024 年 11 月 30 日(土) 14:00～16:30

会場： けんせつプラザ東京+オンライン

内容： 講演 神田敏史氏（神奈川社保協代表委員・神奈川自治労連）

国民健康保険制度は今～国民皆保険制度の危機を乗り越えられるか
東京都議会議員選挙に向けての当面の運動提起

各地での教訓的な取り組み報告

参考： 都議会議員 2025 年 7 月 22 日任期満了 前回 6/25 告示・7/4 投票
参議院議員 2025 年 7 月 28 日任期満了

都内各地で、要求を掲げ奮闘していることと思います。また、コロナ禍で運動が停滞してしまっているところもあるなかで、東京全体での社保キャラバンを視野に各地域で取り組む取り組みの経験・教訓を結集・交流し、毎年 10 月に都民生活要求実行委員会で東京都への予算要求を行っているが、来年以降は各地の要求なども組み込む形で要求化していきたい。

さらに、国民皆保険制度の根幹である保険証の存続を求める運動などをさらに進め、来るべき来年 7 月の都議会議員選挙・参議院選挙を見越し都内立候補者に対して地元の社会保障をめぐる要求と合わせ、東京で統一した要求を掲げて、そのなかでも保険証の存続を選挙の争点に押し上げていく運動を提起・意思統一するために地域社保協交流集会を開催することとした。

2. 「4 の日」宣伝（Since2017 年 2 月～）など

(1) 東京社保協・中央社保協の共同での「4 の日宣伝」

- 10 月 14 日(月・祝)開催結果 7 団体 30 名の参加（東京土建、東商連、都生連、東京民医連、東京高齢期、東京地評、東京社保協）
- 署名：保険証残して 33 筆、介護署名 7 筆、生保最高裁 7 筆
- 今後のスケジュール
11 月 14 日（木）
12 月 14 日（土）

1 月 14 日 (火)

2 月 14 日 (金)

3 月 14 日 (金)

(2) 各地域社保協での独自・共同宣伝

3. 決裁事項

- 日本高齢者大会 in あいち
事務局 2 名派遣のため、参加費・交通費等で 10 万円支出を確認した。

4. その他

(1) 人事報告

東京地評大会での人事により、事務局次長が阿久津氏より清水氏へ変更

(2) 常任幹事会の日程 (定例日：毎月第 4 木曜日)

次回 1 1 月 2 1 日(木) 1 3 : 3 0 ~ 5 階東京地評会議室とオンライン
マイナ連絡会宣伝やオン資「義務化」訴訟判決と重なるため
定例の第 4 木曜から今回のみ第 3 木曜日へ変更

1 2 月は定例通り、1 2 月 2 6 日 (木) 1 3 : 3 0 ~